

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業集落排水事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
予算科目	14-010101-030200	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	地域再生法		
対象・受益者	市民	事業期間	平成16年度～平成27年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
農業集落排水区域内市民の、水洗化による衛生的な生活環境の向上が図れています。		河川の水質保全や公衆衛生の向上のため、西部丘陵地域（土屋・吉沢地区）の下水道（汚水）を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	管渠築造延長						単位	m
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			6,500	4,400	3,800			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	集落排水進捗率						単位	%
	説明・算定式	全体延長36,929m							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			26	38	48			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	現況地形より管渠の位置が深く、施工費がかさんだため							
平成19年度の主な取組と成果									
土屋地区だけでなく、吉沢地区の管路築造工事にも着手した。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	農村地域における資源循環の推進を図りつつ農業用排水の水質保全により農村の生活環境の改善を図る。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業集落における生活排水を処理する施設を設置することにより県条例に定める水質を確保できる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域再生法に基づく交付金(5/10)とともに県補助金(1/10)を受け、整備費の一部を受益者から徴収する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	経済性や事業効果等を検討し、合併処理浄化槽事業との整合を図る。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

今後の管渠埋設においては、農道の改修を含め、埋設位置を確保しながら施工しなければならない箇所が出てくる。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				管渠築造工事	管渠築造工事・処理場整備・用地買収	管渠築造工事・処理場整備		
財源内訳	国庫支出金	0	0	240,025	300,150	307,500	0	0
	県支出金	0	0	46,505	60,000	60,000	0	0
	起債	0	0	185,500	256,500	258,500	0	0
	その他 特財	0	0	0	8,300	0	0	0
	一般財源	0	0	2,315	22,080	39,696	0	0
事業費(A)		0	0	474,345	647,030	665,696	0	0
執行率(%)		0.00	0.00	76.20				
内訳	職員(人)	0.00	0.00	3.60	3.60	3.60	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	0	30,208	30,208	30,208	0	0
フルコスト(A+B)		0	0	504,553	677,238	695,904	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 地域再生法による年間事業費が確定してことから現状の規模での継続といたしたい。	
平成21年度取組方針	
事業計画の着実な実施	
課長コメント	管渠築造延長が計画を下回ったが平成22年度の土屋地区処理施設の供用開始に間に合うよう施設整備を進めて行きたい。